

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Dent. Mater. 22:413-419,2006	Effect of polymerization shrinkage on the interfacial stress at resin-metal joint in denture-base: A non-linear FE stress analysis.	N.Wakabayashi	第一補綴科
Dent. Mater. 23:317-324,2007	Prediction of permanent deformation in cast clasps for denture prostheses using a validated nonlinear finite element model.	N.Wakabayashi	第一補綴科
J.Dent.Res. 85:1087-1091,2006	Influence of alveolar support on stress in the periodontal structures.	N.Wakabayashi	第一補綴科
Prosthodont.Res.Pract. 5:224-230,2006	Stress analysis of overdenture abutment versus crown restoration as a function of supporting bone height.	N.Wakabayashi	第一補綴科
J.Prosthod 15:89-94,2006	Influence of abutment selection in maxillary Kennedy II RPD on stress distribution in oral mucosa : A FEM study.	N.Wakabayashi	第一補綴科
Prosthodont Res Pract	Influence of midline position and incisal inclination on esthetic of complete denture wearers.	T.Suzuki	第一補綴科
Prosthodontic Research & Practice 5(2):72-79,2006	Occlusal factors associated with temporomandibular disorder based on a prospective cohort study of young adults	Masatoshi Kawano, Masanori Fujisawa	第二補綴科
顎顔面補綴 29(1):10-19,2006	骨芽細胞に対する放射線照射の影響 陽極酸化・水熱処理を施したチタン表面上での初期石灰化について	伊藤創造 塩山司 武部純 工藤努 小西史人 石橋寛二	第二補綴科
Journal of Biomedical Materials Research 80A(Issue3):711-718,2007	Anodic oxidation and hydrothermal treatment of commercially pure titanium surfaces increases expression of bone morphogenetic protein-2 in the adherent macrophage cell line J774A.1	J.Takebe, S.Ito C.M.Champagne L.F.Cooper K.Ishibashi	第二補綴科
Pediatric Dental Journal 16(2): 170-178,2006	The characteristics of the deciduous dental arch form of children in Changchun-city, China	Asakawa,A.	小児歯科
Cytotechnology 52:7-85(2006)	Anoikis-resistant MDCK cells carrying susceptibilities to TWF- α and Vevotox in that are suitable for influenza virus cultivation	Shozushima M.	歯科放射線科
岩手医科大学歯学雑誌 第31巻第1号:32-43, 2006年4月	ミダゾラムによる鎮静時のBispectral Index変化とfMRIによる脳機能画像の検討	池田淳子	歯科麻酔科
岩手医科大学歯学雑誌 第31巻第2号:79-84, 2006年8月	中枢性尿崩症患者の全身麻酔経験	四戸豊	歯科麻酔科
岩手医科大学歯学雑誌 第31巻第3号:197-208, 2006年12月	神経ブロック時の眼窩下神経の形態学的変化	鹿島悠子	歯科麻酔科
日本歯科麻酔学会雑誌 第35巻第1号:55-57, 2007年1月	フロー四徴症に類似した心疾患を有する患児の全身麻酔経験	齊藤綾子	歯科麻酔科
Journal of Anesthesia 20:353,2006	An application of a neinflated laryngeal mask airway to anesthesia for dental treatment	Kuji,A	障害者歯科 診療センター
口腔衛生会誌 56(2):137-147, 2006.	舌苔中の歯科疾患関連細菌と口腔内状況との関連性	高橋雅洋	予防歯科
口腔衛生会誌 56(5): 665-672, 2006.	口腔ケアの評価指標とreal-time PCRによる舌苔中細菌数との関連	岸光男	予防歯科

計211件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 鈴木 一幸		
管理担当者氏名	病院事務部長 柳沢 茂人	看護部長 小林 長子	薬剤部長 高橋 勝雄
	医事課長 塚澤 仁敏	医務課長 岸浪 衆二	

	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患者に 係る入院期間中の診療経過の要約	病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、タミカデジタル方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医事課 各診療科	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	〃	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	
	確保の状況 規則第9条の2、3及び第11条各号に掲げる安全管理のための体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	〃
		医療に係る安全管理を行う部門の配置状況	〃
		当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉相談室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧管理者氏名	病院事務部長 柳 沢 茂 人
閲覧担当者氏名	病院事務部医務課長 岸 浪 衆 二 病院事務部医事課長 塚 澤 仁 敏 総務部次長 横 沢 正 浩
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	48.2%	算定期間	平成18年 4月 1日 ~ 平成19年 3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数	14,634 人	
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	13,233 人	
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	2,014 人	
	D:初診の患者の数	48,703 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

①専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (4名) ・ 無
②専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (3名) ・ 無
③医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
・所属職員：専任 (7) 名 兼任 (5 6) 名 ・活動の主な内容：インシデント・アクシデント収集分析、医療事故防止マニュアルの作成、事故発生防止対策の検討、医療事故防止セミナー及び医療安全推進講演会の開催、医療安全推進委員会の開催、診療部門定期視察・指導他	
④当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
・指針の主な内容：基本理念、目的、用語の定義、委員会の設置、医療安全管理のためのマニュアル整備、医療安全管理体制の確立、インシデント事例の要因分析と防止の具体策報告、医療事故発生時並びに発生日以降の対応並びに連絡体制、医療安全のための職員の教育・研修他	
⑥医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・活動の主な内容：委員会の名称「岩手医科大学付属病院医療安全推進委員会」(平成11年11月25日設置) 開催頻度 毎月1回(第4木曜日定期開催)に加え適宜開催 ①インシデント・アクシデント報告等で得られた事例の発生原因分析、再発防止対策の検討周知に関すること ②発生した医療事故に対する対応及び再発防止策に関すること ③医療事故防止活動及び医療安全に関する職員研修等の企画立案 ④その他医療安全に関すること	
⑦医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 8 回
・研修の主な内容： ①期日：平成18年5月11日(木) 演題：改訂マニュアルの理解と徹底 講師：医療安全管理部長 小林誠一郎 医療安全推進室長 高橋 智 ②期日：平成18年6月8日(木) 演題：安全戦争～エラーとの戦いに負けないように～ 講師：東京電力技術開発研究所チーフマネージャー 河野 龍太郎 ③期日：平成18年8月3日(木) 演題：増加する医療事故紛争の現状と課題 講師：弁護士事務所 淀屋橋・山上合同 水島 幸子 ④期日：平成18年10月24日(火) 演題：医療安全について 講師：東北厚生局医療監視専門官 伊藤 幸淑	
⑧医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無) ・その他の改善のための方策の主な内容：リスクマネージャーを中心としたスタッフミーティングにおいて、インシデント・アクシデントの内容を分析し、具体的な防止対策を検討した結果について各種会議に報告し、各医療現場にフィードバックさせ、全職員に医療事故防止にかかる共通認識を持たせる。	